

第 32 期（2021 年度）プロ・ナトゥーラ・ファンド助成  
特定テーマ助成申請書

下記の通り、プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の特定テーマ助成「高山植物の基礎調査および高山植生の保全に関する研究・活動」を申し込みます。

1. タイトル

〇〇山における、高山植物の生活史に関する研究

日本語で、内容を簡潔に表現したものにしてください。

2. 申請団体

団体名	〇〇山植物研究会 プロジェクトを行う団体の名前にしてください。		
申請代表者氏名	(フリガナ)シゼン タロウ	生年	月日 [年齢]
	自然 太郎		
所属機関・役職	自然大学大学院高山植物研究科 修士1年		
住所	〒		
	自宅か職場（または学校）の住所をお書きください。 (自宅・職場)		
電話	自宅・職場：連絡のつきやすい方の番号をお書きください。	携帯電話：	
e-mail	連絡は主にe-mailを用いますので連絡のつくアドレスをお知らせください。	URL	団体のサイトがある場合はURLをお書きください。

学生の場合は学年をお書きください。

3. 助成テーマ（下記より1~2つ選びチェックボックスをクリックしてください。該当しない場合はその他にチェックし、大まかなテーマをカッコ内にお書きください）

- 高山植物の生活史
- これまでに蓄積されてきた高山植生に関するデータの整理・デジタル化
- 高山植物と関わる生物との相互作用
- 野生動物による食害問題
- 高山植物の踏み荒らし・盗掘問題
- その他（ ）

複数選択しないでください。複数のテーマにまたがる場合は、「その他」を選択してください。

4. プロジェクトの概要（200字程度）

本申請プロジェクトにおいて、どこの地域のどのような植物・植生の研究あるいは活動を行うのか、どのような課題を解決しようとしているのか等、目的を明確にお書きください。

例) 〇〇山の標高2,500メートル付近に生育している高山植物（…; …; …など）について、過去の史料調査とフィールド調査により、生活史の変化について研究を行う・・・

5. 助成申請額

200 万円

6. 助成期間（いずれかに○をつけてください）

1 年間 ・ ○ 2 年間

この申請書は、プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の審査にのみ使用し、その他の目的では使用いたしません。公益財団法人自然保護助成基金個人情報保護に関する基本方針のとおり、適切に取り扱いたします。

# プロジェクト計画書（1）

## 1. プロジェクトの意義

- (1) 本プロジェクトの対象となる地域の特徴について、詳細にお書きください。地図を添付するなどし、対象範囲を明確にしてください。

〇〇山は、◎◎山脈の北部に位置する標高xxxx mの山で、△△県と□□県にまたがっている場所に位置している。森林限界となる標高2,500メートル地点にはお花畑が広がり、希少な高山植物種が広く分布している



- (2) 本プロジェクト対象地域特有の自然保護上の意義や、課題についてお書きください。

〇〇山は、XXXX年にユネスコエコパークに登録されており、生物多様性の豊かな場所として世界的にも認識されているが、近年気候変動や野生動物の高山帯進出により、生態系が大きく変化してきていることが懸念されている…

- (3) これまで当該地域では、どのような調査・研究・活動がなされており、どこまで解明され何がわかっていないのか、現状をご説明ください。

本地域における高山植物の生活史に関する50年以上前の記録はあるが、手書きによる記録やマイクロフィルムに残された写真記録（アナログデータ）しか残っておらず、今後の研究のためにデジタル化して整理し、保存しておく必要がある。

また、近年の調査記録はないため、同区域においてフィールド調査を実施し、その生活史の変化についても研究を進める必要がある。・・・

### ※注意※

- フォントサイズは10ポイント以上でお書きください。
- 枠の位置やサイズの変更はしないでください。また、ページ数を増やすことはできません。
- 写真や図の挿入は可能ですが、モノクロ印刷で審査に付されるため、モノクロでも見分けの付く範囲内をお願いします。
- 字数制限はありませんので、ページ内であれば設問ごとに回答スペースを調整しても構いません。

## プロジェクト計画書 (2)

### 2. プロジェクトの計画

#### (1) 本研究の具体的な到達目標についてお書きください。

本研究では、〇〇山の高山植物の生活史を調べるため、2年間で以下の研究を行う。

##### 【1年目】

- ・ 過去の同地域における高山植物の生活史に関する情報を整理する・・・
- ・ 6月～8月にかけて〇〇山の高山植物の開花フェノロジー調査を行い・・・

プロジェクトが2年間の場合は、1年ごとの到達目標について具体的にお書きください。

##### 【2年目】

- ・ 1年目と同じ時期に、〇〇山の高山植物の開花フェノロジー調査を行う

#### (2) 調査・研究手法をお書きください。

##### 【1年目】

- ・ 過去のアナログデータをスキャンしてデジタル化する。・・・
- ・ 過去のマイクロフィルムの写真データをデジタル化する
- ・ 過去の調査地図を参考に調査プロットを作成する。・・・
- ・ ・・・

##### 【2年目】

- ・ 調査プロット内の植物の写真撮影、開花時間の記録を行う。
- ・ ・・・

#### (3) 予算計画について、特記すべき点があれば、お書きください。一つの費目への比重が大きい場合などは、説明してください。

野外調査用の機材の購入費が多い。

#### (4) 調査・研究体制や構成メンバーの専門性などについて、特記すべき点があれば、お書きください。

本調査は、高山植物に詳しい植物学者だけでなく、訪花昆虫に詳しい動物学者もメンバーに加わっている。これにより、当該地域の植生だけでなく、生態系全体を俯瞰的に見ることができる・・・

- (3) と (4) の設問については、特記すべき事項がなければ空欄で結構です。そのぶん (1) と (2) の回答スペースを広げてお書きいただいて構いません。
- ただし、ページ数は増やさないでください。

## プロジェクト計画書（3）

### 3. プロジェクトの発展性

- (1) 本プロジェクトで得られた成果は、当該地域での環境予測の基盤的知見として、今後どのように情報を発信し、自然環境の保全に繋げていくのか、具体的にお書き下さい。

過去のデータを整理し、過去の調査結果と比較することで、地球温暖化や野生動物の高山帯進出の影響により、高山植物の生活史がどのように変化してきたのか、また今後どのように変化していくのか基盤的な知見を得ることができる。得られた知見は、学会にて発表するほか、ジャーナル誌に投稿する・・・

- (2) 本プロジェクトは助成期間終了後、どのような研究あるいは活動に展開させていく予定なのか、具体的にお書きください。

本研究で得られた成果は、地域の自然保護団体等と共有し、団体との連携を深め、モニタリング体制を構築していく。・・・

## 年間スケジュール(1)

時期	内容とその詳細	助成金 支出概算
2021年 10月	情報の収集, 整理① ・〇〇山の高山植物の生活史に関するアーカイブデータの整理	消耗品の購入 59,000円
11月	↑ ↓	アルバイト賃金 120,000円
12月	地域の自然保護団体とのオンラインでの情報交換	
2022年 1月	情報の収集, 整理② ・〇〇山の高山植物のマイクロフィルムに記録された写真データのデジタル化作業	
2月	↑	月をまたいで調査や分析の作業を行う場合は、↑でお示しください。 行の高さは変更して構いませんが、ページは増やさないでください。
3月	↓	
<b>【1年間プロジェクト】中間報告書の提出</b>		
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
<b>【1年間プロジェクト】助成期間の終了 / 【2年間プロジェクト】中間報告書の提出</b>		
10月		
11月	<b>【1年間プロジェクト】成果報告書・会計報告書の提出</b>	<b>【1年間プロジェクト】成果発表会出席旅費</b>
12月		

## 年間スケジュール(2)

時期	内容とその詳細	助成金 支出概算
2023年1月		
2月		
3月		
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
【2年間プロジェクト】助成期間の終了		
10月		
11～12月	【2年間プロジェクト】最終報告書の提出	【2年間プロジェクト】成果発表会出席旅費 30,000円

## グループの構成員

氏名	所属	役職	分担*
自然太郎	自然大学大学院	修士1年	責任者（申請者）
●● ●●	自然大学大学院	ポスドク	副責任者
●● ●●	自然大学		会計責任者

グループの最低人数は3名とし、代表者は副責任者または会計責任者を兼任しないでください。

申請者がその任を負えなくなったときに、このプロジェクト遂行の責任を負っていただける方を副責任者としてください。

大学の研究者が申請代表者となる場合、大学事務員を会計責任者とすることができます。ただし、申請グループの一員という扱いになるため、一般管理費（オーバーヘッド）の支出は認められません。大学への寄附手続きは当財団では行いません。会計処理が困難となる場合、可能であればグループ内で会計係を設けるようにしてください。

\*プロジェクトの上で担当する役割を記入。（責任者、副責任者、会計責任者を必ず決めて下さい。）

## これまでの研究実績・発表実績

申請代表者の略歴（過去を含めた所属先や最終学歴など）をお書きください。

XXXX年 自然大学生物学部植物学科 卒業

〇〇山植物研究会を3年前に立上げ、〇〇山のお花畑の保全を目指して活動している

学生の方は、プロジェクトに関連する経歴について書いていただいても構いません。

本申請に関連する、代表的かつアクセス可能な研究実績・発表実績3件をお書きください。（申請代表者以外のプロジェクトメンバーのものでも可）

a) 様式（論文の場合）：著者（発表年）、論文タイトル、雑誌名、巻（号）：初めのページ-終りのページ。  
様式（書籍の場合）：著者（出版年）、タイトル、出版社、ページ数。

b) 様式（学会・シンポジウム等の発表）：発表者、「題目」、発表した学会名、論文等の番号、場所、発表年月日

c)

必ずしも申請代表者の実績である必要はありませんが、本申請の内容に関連するものに限りです。

## 助成金申請状況

1. 現在、同様のテーマで他財団や公的機関の助成金を申請していますか。

機関名	テーマ	金額(万円)

科研費や他財団の助成金への申請は特に禁止していませんが、同様のテーマで重複して採択された場合は必ず当財団にご相談ください。

2. 現在、第32期プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の別の申請に、構成メンバーとして参加していますか。

カテゴリー名	タイトル

申請代表者は、他の申請プロジェクトにおいて申請代表者になることはできません。また、本申請グループが別のテーマで複数応募することをご遠慮ください。

# アンケート

(アンケートの記述のない申請書は受け付けません。記述内容は選考に影響しません。)

I 申請代表者の当財団による助成への応募は何回目ですか。

初めて ・ 2回目 ・ 3回目 ・ 4回目以上 ・

グループとしては応募経験あり ( 回) ←応募回数をお書きください。

II 過去に、申請代表者は当財団による助成金を得たことはありますか。あれば回数をお書き下さい。

ない ・ 1回 ・ 2回 ・ 3回 ・ 4回以上

グループとしては採択経験あり ( 回) ←これまでの採択回数をお書きください。

III 今回の助成の詳細は、何で知りましたか。

当財団のWebページ/Facebook ・ 助成金情報サイト ・ メーリングリスト ・

友人/知人から ・ その他 ( )

IV 募集要項について、気になった点、わかりにくかった点があればお書き下さい。また、申請書で書きにくかった項目があればお書き下さい。

V プロ・ナトゥーラ・ファンド助成に関するご意見・ご要望があれば、お書きください。

VI プロ・ナトゥーラ・ファンド助成で、今後新たに取り組むと良いと思われる自然保護の課題があれば、お書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

## チェックリスト

- 記入漏れ、記入ミスはありませんか？
- ページ数はアンケートを含め8ページに収まっていますか？
- アンケートは記入しましたか？
- 支出計画書は記入しましたか？



1年プロジェクトの場合は1年用のフォーマットに記入してください。

### 支出計画書(1)\_1年目

プロジェクト名:

#### 助成申請額

¥1,000,000 円

自動的に算出されますので記入しないでください。  
申請書の申請金額と相違がないようご確認ください。

団体:  
代表者:  
会計責任者:

#### 支出計画

(別紙「助成金費目一覧表」を参照)

費目	内訳	単価	数量	小計
a.器具・備品費	インターバルカメラ	¥30,000	10	¥300,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥300,000
b.消耗品費	筆記用具(鉛筆, ボールペン, メモ帳...)	¥2,000	10	¥20,000
	コロナ対策消耗品(アルコール, マスク)	¥3,000	10	¥30,000
	フィルムスキャナー	¥9,000	1	¥9,000
				¥0
(合計)				¥59,000
c.委託費				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥0
d.賃金・謝金	アルバイト賃金 (1万円×3名×調査日数)	¥10,000	30	¥300,000
	オンライン勉強会 講師 謝金	¥10,000	2	¥20,000
				¥0
				¥0
(合計)				¥320,000
e.旅費	宿泊費(山小屋利用)	¥7,000	10	¥70,000
	レンタカー代(ガソリン代含む)	¥15,000	6	¥90,000
				¥0
(合計)				¥160,000
f.交通・通信・運搬費	グループメンバー交通費	¥1,000	20	¥20,000
	アルバイト交通費	¥1,000	30	¥30,000
				¥0
(合計)				¥50,000

細かい消耗品が多く記入欄が足りなくなる場合はこのようにまとめて書いてください。

委託費・謝金に関しては、上限はありませんが、予算の大半を占める場合は、グループメンバー主体の活動ではないと見なされることがありますのでご注意ください。

片道100kmを超える場合は旅費、100km未満の場合は交通費として計上してください。メンバー以外の協力者や補助者の旅費・交通費もこちらに計上してください。

※記入欄が足りない場合は、行を追加して、不要な行を削除して記入してください。

支出計画書(2)\_1年目

費 目	内 容	単 価	数 量	金 額(円)
g.図書・資料費	地形図 図鑑	¥500 ¥1,000	30 6	¥15,000
				¥6,000
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥21,000
h.印刷費	資料印刷代	¥10	5000	¥50,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥50,000
i.会議費	会議室利用料	¥5,000	4	¥20,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥20,000
j.借用費				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥0
k.雑経費	保険料	¥2,000	10	¥20,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥20,000
助成申請額合計				¥1,000,000

※1年目と2年目の合計助成申請額が200万円を超えないようにご注意ください。

### 支出計画書書(3)\_2年目

プロジェクト名:

#### 助成申請額

¥1,000,000 円

団体:

代表者:

会計責任者:

#### 支出計画

(別紙「助成金費目一覧表」を参照)

費 目	内 訳	単 価	数 量	小 計
a.器具・備品費	調査用テント購入費	¥50,000	3	¥150,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥150,000
b.消耗品費	筆記用具(鉛筆, ボールペン, メモ帳…)	¥2,000	3	¥6,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥6,000
c.委託費				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥0
d.賃金・謝金	アルバイト賃金 (1万円×3名×調査日数)	¥10,000	30	¥300,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥300,000
e.旅費	宿泊費(山小屋利用)	¥7,000	10	¥70,000
	同レンタカー代(ガソリン代含む)	¥15,000	6	¥90,000
	学会参加費	¥80,000	1	¥80,000
				¥0
				¥0
(合計)				¥240,000
f.交通・通信・運搬費	グループメンバー交通費	¥1,000	30	¥30,000
	アルバイト交通費	¥1,000	30	¥30,000
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥60,000

学会参加費, 論文投稿費, 英文校閲費は上限10%  
までの範囲内で支出可.

支出計画書(4)\_2年目

費 目	内 容	単 価	数 量	金 額(円)
g.図書・資料費				¥0
(合計)				¥0
h.印刷費	資料印刷代	¥20	5000	¥100,000
(合計)				¥100,000
i.会議費	会議室利用料	¥5,000	10	¥50,000
(合計)				¥50,000
j.借用費				¥0
(合計)				¥0
k.雑経費	保険料	¥2,000	32	¥64,000
(合計)				¥64,000
l.助成成果発表会出席経費	長野⇄東京(往復)	¥30,000	1	¥30,000
(合計)				¥30,000
助成申請額合計				¥1,000,000

成果発表会には必ずご出席ください。そのための旅費は必ずこちらに計上して下さい。なお、発表者1名分のみ計上して下さい。